

調布市外国語指導助手派遣業務
事業者候補選定プロポーザル
【実施要領】

令和 8 年 1 月 1 3 日
調布市教育委員会教育部指導室

目次

第 1	業務概要	1
第 2	予算額	6
第 3	実施形式	6
第 4	参加資格要件	6
第 5	実施日程	7
第 6	募集方法及び参加申込書等の提出	8
第 7	企画提案	9
第 8	質疑応答	1 0
第 9	審査概要	1 1
第10	情報公開及び提供	1 4
第11	その他	1 4
第12	問い合わせ及び書類提出先	1 5

調布市外国語指導助手派遣業務 事業者候補選定
プロポーザル 実施要領

第1 業務概要

1 件名

調布市外国語指導助手派遣業務

2 業務の目的

本業務は小学校外国語活動及び中学校外国語（英語）教育の指導の充実と国際理解教育推進のため、学習指導補助等を行う外国語指導助手（以下「ALT」という。）を配置し、児童生徒の外国語（英語）によるコミュニケーション能力の素地や基礎を培う指導体制を充実させることを目的とする。

本件派遣業務事業者の選定については、公募型プロポーザル方式を採用し、実績，専門性，技術力，企画力，創造性等を総合的に判断して，当該派遣業務の履行に最も適した受託業者を選定するものとする。

3 業務内容

(1) ALTの業務

ア 外国語指導

小・中学校の外国語活動等に参加し，英会話や国際理解のための指導を行うとともに，必要に応じて担当教員等との英語会話の実演を行う。また，業務履行時間内において，休み時間や給食時間等の授業時間外に児童生徒と英語による交流を行う。

イ 授業準備

児童生徒が意欲的に取り組み，達成感を味わうことができるような歌やゲームなどを採り入れた指導案の作成や指導方法に対する助言と情報提供，毎回の授業で使用する教材の作成補助及び教材研究

補助を行う。

業務履行時間内において、担当教員から授業内容について指示を受け、学習の目当てと授業中の役割分担を明確にして授業に臨む。
また、年度始めには、各学校にコーディネーターと共に訪問するなどして事前に顔合わせをする等の時間を設けることとする。

ウ その他

市と派遣元が合意した業務を行う。

(2) A L T の資格条件

以下の全ての条件を満たす者

ア 英語教育分野での専門知識や経験が豊富である者

イ 教職員との授業の打ち合わせができる程度の日本語能力を有する者

ウ 日本の教育環境を十分に理解し、積極的に児童生徒とコミュニケーションを図り、熱意を持って指導にあたることができる者

エ 法令、条例等の規定を遵守し、教育現場にふさわしい資質を有する者

オ 健康診断（結核等の伝染病の有無の検査も含む。）を受診し、心身ともに健康で、職務に専念することができる者

カ 本業務の履行に際して必要な査証等を取得し、適法な在留資格・期間を有している者

(3) A L T の注意事項

ア 教育現場にふさわしい言動・服装に配慮すること。

イ 勤務中に児童生徒等に事故が発生した場合あるいは施設備品が破損若しくは破損を発見した場合は、速やかに配置先の管理職へ連絡すること。

なお、この委託契約の履行に関して発生した事故等による損害のために生じた経費等は、その損害が市の責に帰する事由により生じたものを除き、派遣元が負担する。

ウ 学校の規則等を遵守し、職務上知り得た一切の情報を第三者に開

示，漏えいしないこと。

(4) 派遣元の業務

ア 適格者の配置

日本語の意思疎通ができ英語を母国語とする A L T の配置を行う。

A L T は複数校を兼務しても差し支えないが，契約期間中は同一の学校へ同一の A L T を継続して配置すること。

なお，A L T が外国籍であるか否かは問わない。

イ コーディネーターの選任

業務全般にわたる事務及び運営の責任者を一人配置し，A L T の統括及び市や学校との連絡・調整にあたること。

ウ 研修等の実施

A L T には，業務を適正に行うための知識，技術を習得するための研修を実施し常に質の向上を図るとともに，安定した講師の配置に努めること。

エ 授業観察等の実施

毎学期 1 回全 A L T の授業観察を行い，A L T へ指導・助言を行うとともに全学校からの要望等を把握し，改善すべき点が認められた場合には，市と協議のうえ，速やかに見直すこと。

また，上記の報告については，書面で当該学期の終了する月の翌月 1 5 日（3 学期分は 3 月 3 0 日）までに，指導室に提出すること。

オ 教材の準備

業務で使用する教科書及び教材は，派遣元の負担とする。

学校から，学校所有となる教材の作成を依頼され，学校物品の使用が必要な場合には，その旨を申し出て，学校と協議のうえ使用すること。

カ 勤務日程の管理

年度当初に各学校の予定を確認し，A L T を配置する年間スケジ

ュールの作成をする。また定められた勤務日に勤務できない場合、勤務開始時間までに速やかに学校に連絡し、協議のうえ代替のALTにより業務を履行する、又は業務日を他の日に振り替える等の対応をし、その経緯及び対応について速やかに市へ報告をすること。

なお、学校の都合により日程を変更する場合や天災等により学校が臨時休業を行う場合には、決定次第速やかに市又は学校から派遣元に連絡をすることとし、その際の業務日の振替等の対応については市や学校と協議のうえ、可能な限り対応すること。

ク 労務管理等

ALTの税金、保険、その他法律上の金銭的な責任、在留資格の取得、就労要件の確認、住居、交通手段及び生活面等について、一切の管理責任を負うこと。なお、給食費は派遣元が直接学校に支払うこと（令和7年度においては、1食あたり小学校330円、中学校390円。令和8年度の料金は未定）。

また、毎月ALTの出勤表を学校毎に作成し、勤務日について学校管理職の確認を受けたうえで、翌月5日までに指導室へ提出すること。

なお、各日業務を行ったクラスを記載すること。

ケ その他

その他業務を履行するために必要な事務を処理すること。

4 業務履行日及び履行時間

- (1) 履行日は、祝日を除き月曜日から金曜日までの市が指定する日とする。ただし、学校が休日に授業等を行い、振替休業日を指定する場合には、それに従うものとする。
- (2) 履行時間は、午前8時30分から午後4時までの間で1日当たり6時間を上限とし、部活動において業務を履行する場合においては、1時限の単位を50分とするとともに午後5時までを履行時間とする。
- (3) 履行日数等は、次のとおりとする

ア 小学校（クラス数については別紙参照）

（ア） 指導対象学年 第3学年～第6学年

（イ） 指導時間数 第3学年及び第4学年は1クラスにつき年15
時限程度，第5学年及び第6学年は年50時限
程度

※調布市教育支援センター（適応指導教室）「太陽の子」（不登
校児童が高学年を中心に10人程度在籍しています。）へ月2時
限配置すること。

イ 中学校（クラス数については別紙参照）

（ア） 指導対象学年 第1学年～第3学年

（イ） 指導時間数 1クラスにつき年35時限程度

※ 第七中学校に配置する講師については，第七中学校はしう
ち教室（不登校生徒が15人程度在籍しています。）にも別
途月2時限配置すること

※ 教育支援センターCANVAS（令和8年3月に開設予定。不登
校生徒が10人程度在籍する予定です。）にも別途月2時限
配置すること

ウ 予定授業日数

小学校1，528日間

中学校 801日間 合計2，329日間

5 履行場所

調布市立小学校及び中学校（第七中学校不登校特例校分教室・太陽の
子を含む）

別紙参照

6 業務期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

※業務の履行が良好で，かつ実施可能な予算の配当がある場合は，

令和 9 年度，令和 1 0 年度において事業を継続する予定である

第 2 予算額

見積限度額は下記に定めるとおりとする。

【款】 50 教育費【項】 05 教育総務費【目】 15 教育指導費

【大】 20 国際理解教育指導費【中】 17 外国語指導助手派遣業務

【小】 05 外国語指導業務

【節】 13 委託料

1 日当たり 2 2 , 0 0 0 円（税込）

※ 令和 9 年度，令和 1 0 年度も同規模の予算を予定

第 3 実施形式

本プロポーザルは，公募型プロポーザル方式により実施する。

第 4 参加資格要件

申込時において，次に掲げる条件を全て満たしていること

- 1 調布市指名停止等措置要綱（平成 1 8 年調布市要綱第 2 2 0 号）による指名停止を受けていないこと。
- 2 地方自治法施行令（昭和 2 2 年号外政令第 1 6 号）第 1 6 7 条の 4 第 1 項及び第 2 項の規定に該当しないこと。
- 3 競争入札参加資格審査申請において，提出された書類の記載事項に虚偽がないこと。
- 4 調布市契約における暴力団等排除措置要綱（平成 2 5 年調布市要項第 8 号）による入札参加排除措置を受けていないこと。
- 5 中小企業等協同組合法（昭和 2 4 年法律第 1 8 1 号）に基づく事業協同組合にあっては，その構成員が同一のプロポーザルに参加していないこと。
- 6 相互に資本関係又は人的関係のある者が同一のプロポーザルに参加していないこと。

- 7 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）第 17 条の規定による更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）第 21 条の規定による再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- 8 調布市での競争入札参加資格を有していること。
（営業種目：その他の業務委託等）
- 9 東京都又は近隣自治体（神奈川県・千葉県・埼玉県・山梨県）において、契約締結に関する権限を有する本店・支店があり、かつ外国語指導助手派遣業務において、平成 29 年度以降に地方公共団体の受託実績を 1 件以上有すること（履行完了しているものに限る）。
- 10 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和 60 年法律第 88 号）第 5 条第 1 項に規定する労働者派遣事業者の許可を受けている者であること。

第 5 実施日程

本プロポーザルの実施日程は次のとおりとする。

年月日	事項
令和 8 年 1 月 13 日（火）	第 1 回審査委員会
令和 8 年 1 月 13 日（火）	公告
令和 8 年 1 月 20 日（火）	参加資格に関する質疑受付締切日
令和 8 年 1 月 22 日（木）	参加資格に関する質疑回答日
令和 8 年 1 月 27 日（火）	参加申込書締切日
令和 8 年 1 月 28 日（水）	参加資格審査結果送付
令和 8 年 1 月 30 日（金）	参加資格審査結果に対する問い合わせ締切日
令和 8 年 2 月 3 日（火）	参加資格審査結果に対する問い合わせへの回答送付
令和 8 年 2 月 3 日（火）	企画提案に関する質疑受付締切日
令和 8 年 2 月 5 日（木）	企画提案に関する質疑回答日

令和 8 年 2 月 1 0 日（火）	企画提案書提出締切日
令和 8 年 2 月 1 7 日（火）	第 2 回審査委員会（企画提案書等の審査）
令和 8 年 2 月 1 8 日（水）	一次審査の結果送付日
令和 8 年 2 月 2 0 日（金）	一次審査の結果に対する問い合わせ締切日
令和 8 年 2 月 2 7 日（金）	一次審査の結果に対する問い合わせへの回答送付
令和 8 年 3 月 5 日（木）	第 3 回審査委員会（プレゼンテーション審査）
令和 8 年 3 月 6 日（金）	二次審査の結果送付日
令和 8 年 3 月 1 1 日（水）	二次審査の結果に対する問い合わせ締切日
令和 8 年 3 月 1 3 日（金）	二次審査の結果に対する問い合わせへの回答送付

第 6 募集方法及び参加申込書等の提出

本プロポーザルはホームページを通じて募集する。

1 応募申込

本プロポーザルに応募する事業者（以下「応募事業者」という）は、『第 4 参加資格』に掲げる条件を全て満たしていることを確認のうえ、市教育委員会教育部指導室に応募すること

2 応募方法

応募事業者は、令和 8 年 1 月 1 3 日（火）から令和 8 年 1 月 2 7 日（火）午後 5 時までに、以下の提出書類を用意し、持参又は郵送にて提出すること

- (1) 参加申込書（様式 1）
- (2) 会社概要（様式自由 会社案内などの冊子でも可）

正本 1 部 副本 8 部

ア 会社名

イ 代表者名

ウ 資本金

エ 事業内容

オ 本業務を担当する支店又は営業所等の名称及び所在地

(3) 業務実績調書（様式 2） 正本 1 部 副本 8 部

(4) 暴力団等に該当しない旨の誓約書（様式 3） 1 部

※ 副本については会社名，住所等がわからないようにすること

3 提出期限

令和 8 年 1 月 2 7 日（火）午後 5 時必着（持参又は郵送）

4 参加資格の審査及び審査結果の通知

実施要領に基づき，応募事業者の参加資格を審査し，その結果を全応募事業者に対し，令和 8 年 1 月 2 8 日（水）に書面にて通知（発送）する。併せて電子メールでも通知する。

なお，参加資格を満たしていないと判断された事業者は，その理由について，令和 8 年 1 月 3 0 日（金）正午までに書面又は電子メールにて説明を求めることができるものとする。

第 7 企画提案

参加資格を満たすと判断された事業者は，令和 8 年 2 月 1 0 日（火）正午までに，以下の書類を用意し，持参で提出しなければならない。

1 提出書類

(1) 企画提案書（提案書表紙：様式 4 企画書 様式自由）

(2) 業務スケジュール（様式自由）

(3) 見積書・内訳書（様式自由 A 4 縦書左綴じ）

※ 提出部数は，各正本 1 部，副本 8 部とし，副本については会社名，住所等がわからないようにすること

2 企画提案書等作成の留意点

各派遣対象業務の作業内容に対し，特に下記の点がよくわかる企画提案書とすること

(1) 事業内容について

ア 指導計画・教材等の研究開発

イ 児童生徒が意欲的に取り組める授業内容や指導方法

(2) ALTについて

ア 採用の基準（ALTに求める資格，英語能力，日本語能力等）・採用方法等

イ 研修の方法・体制等

ウ ALTの配置・管理体制（ALT欠席時の対応含む）

(3) 業務執行体制について

ア コーディネーターの実績，能力，役割等

イ 連携体制

ウ 危機管理体制

エ 労務管理・法令順守体制

第8 質疑応答

質疑のある事業者は，所定の様式に質問事項，担当者名，電話番号，電子メールアドレスを明記のうえ，期限までに，電子メールで提出することとする。

質問内容の回答は，市ホームページへ掲載することとする。

1 参加資格に関する質疑について

質問受付期間：令和8年1月13日（火）から

令和8年1月20日（火）まで

回答日：令和8年1月22日（木）

2 企画提案に関する質疑について

質問受付期間：令和8年1月13日（火）から

令和8年2月3日（火）まで

回答日：令和8年2月5日（木）

第9 審査概要

1 審査委員会の設置

「調布市外国語指導助手派遣業務事業者候補選定プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という）」を設置し、実施要領の確認、企画提案書等の審査、プレゼンテーション審査及び経費見積書による審査を行う。

(1) 委員会構成

委員会は、以下の5人で構成することとする。また、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

ア 市立小学校長

イ 市立中学校長

ウ 教育部指導室学校経営支援担当主幹

エ 教育部指導主事

オ 教育部教育総務課総務係長

2 審査方法等

委員会は、『第4 参加資格』に掲げる資格を有していると判断した事業者の企画提案書等の審査、プレゼンテーション及び経費見積書による審査を総合的に行う。

(1) 企画提案書等の審査（一次審査）

ア 審査手順

参加資格を満たす事業者から提出された企画提案書等の審査を令和8年2月17日（火）に実施する。

各委員の評価得点の合計得点により順位を付ける。同点の場合は各委員の総合的な評価により順位を定め、同順位はないものとする。順位の上位者から、5事業者がプレゼンテーション審査及び経費見積書による審査の対象とする。

なお、応募事業者が5事業者以下の場合は、全ての事業者をプレゼンテーション審査の対象とする。

イ 審査結果

審査完了後，企画提案書等を提出した事業者全員に対して審査結果を令和８年２月１８日（水）に電子メールにて通知する。

ウ 結果に関する問い合わせ

一次審査を通過しなかった事業者は，審査結果について，令和８年２月２０日（金）正午までに書面又は電子メールにて説明を求めることができるものとする。

(2) プレゼンテーション審査（二次審査）

ア 審査手順

企画提案書等の審査に合格した事業者の企画提案について，プレゼンテーション審査を，令和８年３月５日（木）に実施する。

なお，プレゼンテーションは，事業者の主な担当となる者が必ず行うものとする。

イ 評価基準

以下の視点を踏まえ別途審査基準・採点票を作成し，評価を行うものとする。

- a 調布市の特性を踏まえた業務の理解度
- b 知識，専門性
- c 創意，工夫
- d 意欲，熱意
- e 妥当性
- f 的確性，独創性及び実現性

ウ 選定

(ア) 各委員は，評価得点の高いものから応募事業者の順位を定めるものとする。

(イ) (ア)により，複数の応募事業者において評価得点が高点のときは，各委員は総合的な評価により，当該応募事業者の順位を定めるものとする。

(ウ) (ア)及び(イ)により，委員から最も多く第１位の順位を獲得し

た応募事業者を派遣事業者候補として選定する。なお、複数の応募事業者において、第1位の順位獲得数が同数の場合には、当該応募事業者において第2位の順位獲得数の多い応募事業者を上位とする。また、第1位の順位獲得数及び第2位の順位獲得数いずれも同数の場合には、当該応募事業者において、各委員の評価得点の合計が最も高い応募事業者を上位とする。

(エ) 複数の事業者から応募があった場合は、第2位の順位以下についても順位を定めるものとする。

(オ) 派遣事業者候補選定後、上位の応募事業者が辞退又は失格となったときは、下位の事業者の順位を繰り上げて、順位を定めるものとする。

エ 最低基準

派遣事業者候補の選定にあたっては、評価得点に最低基準を設け、応募事業者の評価得点が基準に満たないときは、当該応募事業者を派遣事業者候補として選定しない。

オ 選定結果の報告

委員会は選定結果を市長に報告する。

カ 委託事業者の決定

市長は、前項目の報告に基づき調布市外国語指導助手派遣業務事業者候補を決定する。

キ 選定結果の通知

(ア) 結果通知

プレゼンテーション審査を行った全応募事業者に対し、令和8年3月6日（金）に選定結果を電子メールにて通知する。

(イ) 結果に関する問い合わせ

プレゼンテーション審査により選定されなかった応募事業者は、審査結果について、令和8年3月11日（水）正午までに書面又は電子メールにて説明を求めることができるものとする。

第 10 情報公開及び提供

1 基本方針

調布市情報公開条例（平成 11 年調布市条例第 19 号。以下「公開条例」という。）に基づき，原則として市政情報を全部公開としていることから，本プロポーザル実施に関する情報について，情報公開及び情報提供するものとする。

ただし，公開条例第 7 条第 2 号及び第 3 号により，個人に関する情報及び法人その他の団体に関する情報を公にすることにより，法人などの事業活動上の正当な利益を害するものについては，非公開とする。

2 情報提供の内容，方法など

本プロポーザルの募集内容，選定結果について，市ホームページにより，適宜，市民に情報提供する。

第 11 その他

1 提出書類の取扱

- (1) 1 事業者からの提案は，1 提案とする。
- (2) 提出書類に関しては，原則として追加・変更を認めない。ただし，市が認めた場合は，この限りでない。
- (3) 事業者から提出された書類などは，理由の如何に関わらず返却しない。

2 必要経費

応募に際して要した費用は，応募事業者の負担とする。

3 失格要件

次に掲げるいずれかに該当する場合は，本件の参加を失格とする。

- (1) 「第 4 参加資格」に記載した条件を満たしていない，または，選定までに満たさなくなった場合
- (2) 必要書類が提出期限後に到達した場合。ただし，勘案すべき正当な理由があった場合にはこの限りではない
- (3) 提出書類に不備がある場合

- (4) 書類等の提出，回答，報告等，市の必要と認める事項を正当な理由がなく拒否した場合
- (5) 提出した書類に虚偽の記載があった場合
- (6) 見積書が見積限度額を超える場合
- (7) 見積書と内訳書の金額が一致しない場合
- (8) 談合その他の不正行為，審査の透明性・公平性を害する行為があった場合
- (9) 上記事項に掲げるもののほか，公平かつ適正な事務手続等ができないものと認められる場合

4 契約

- (1) 本プロポーザルは，企画・提案能力のある事業者を選定するものであり，契約の締結を担保するものではない。
- (2) 事業者選定後，双方協議のうえ業務の詳細についての仕様書を定める。
- (3) 事業を実施するうえで，仕様の変更を余儀なくされる場合は，双方の協議により定めることができる。
- (4) 候補者の決定以後に，「第4 参加資格」の掲げる条件を満たさなくなった場合には，契約を締結しないことがある。
- (5) 本事業は，継続事業として年度ごとに契約を締結するが，開始年度の翌年度以降については，予算措置状況や履行状況等を勘案し更新しない場合がある。

5 この基本方針に定めるもののほか必要な事項は，別に定める。

6 この審査に関する事務は，市教育委員会教育部指導室がとりまとめる。

第12 問い合わせ及び書類提出先

〒182-0026 調布市小島町2-36-1

調布市教育委員会教育部指導室

担 当：佐伯

電 話 : 0 4 2 - 4 8 1 - 7 4 8 0

F A X : 0 4 2 - 4 8 1 - 7 7 8 5

メー ル : sidou@city.chofu.lg.jp

調布市立小学校（２０校）

（別紙）

学校名	所在地	３～６年参考クラス数
第一小学校	調布市小島町１－８－１	１５
第二小学校	調布市国領町４－１９－１	１２
第三小学校	調布市上石原２－１９－１３	１３
八雲台小学校	調布市八雲台１－１－１	１２
富士見台小学校	調布市小島町３－２０－１	１４
滝坂小学校	調布市東つつじヶ丘１－４－１	１２
深大寺小学校	調布市深大寺元町５－１６－２１	１２
上ノ原小学校	調布市柴崎２－２６－１	１７
石原小学校	調布市富士見町１－３７－１	１３
若葉小学校	調布市若葉町３－１７－５	２０
緑ヶ丘小学校	調布市緑ヶ丘２－１６－１	１２
染地小学校	調布市染地３－１－８１	５
北ノ台小学校	調布市深大寺北町２－４１－１	１８
多摩川小学校	調布市多摩川３－２１－１	１５
杉森小学校	調布市染地２－２５－４	１４
飛田給小学校	調布市飛田給３－２９－１	８
柏野小学校	調布市深大寺南町１－１－１	１３
国領小学校	調布市国領町８－１－５５	８
布田小学校	調布市染地１－１－８５	１０
調和小学校	調布市西つつじヶ丘４－２２－６	１４
合計		２５７

調布市立中学校（８校）

学校名	所在地	１～３年 参考クラス数
調布中学校	調布市富士見町４－１７－１	１７
神代中学校	調布市佐須町５－２６－１	２３
第三中学校	調布市染地３－２－７	２０
第四中学校	調布市若葉町３－１５－１	１０
第五中学校	調布市上石原３－２７－１	２０
第六中学校	調布市国領町３－８－２３	１１
第七中学校	調布市八雲台２－１６－１	１３
第八中学校	調布市仙川町２－１５－２	１２

合計	1 2 6
----	-------

その他

施設名	所在地
教育支援センター（適応指導教室） 太陽の子	調布市菊野台 3 - 2 7 - 4 5
第七中学校はしうち教室	調布市菊野台 3 - 2 7 - 3 8
教育支援センター CANVAS	調布市布田 4 丁目 17 番地 10

※クラス数は 4 月に確定します。